



2025年1月15日

各位

会社名 ダイト株式会社
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 松森 浩士
(コード : 4577 東証プライム市場)
問合せ先 CFO(最高財務責任者) 大津賀 健史
(TEL 076-421-5665)

ノーベルファーマ株式会社とダイト株式会社における
NPC-29(多系統萎縮症(MSA)を適応症とする、ユビキノール含有製剤)
の開発に向けた協業について

ダイト株式会社(本社:富山県富山市、代表取締役社長兼 CEO: 松森 浩士)は、ノーベルファーマ株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長: 塩村 仁)と NPC-29(多系統萎縮症(MSA)を適応症とする、ユビキノール含有製剤)の開発に向けた協業(以下「本件協業」と言います。)にかかわる契約の締結を進めることについて、基本合意したことをお知らせいたします。

1. 多系統萎縮症について

多系統萎縮症(MSA)は、脳内の特定の部位、特に基底核と小脳、および脳幹が萎縮または変性する神経変性疾患です。この疾患は自律神経系の異常を特徴とし、これにより血圧の自動調節、心拍数、呼吸などの自律神経機能が障害されます。また、MSA は運動機能障害も引き起こすことがあります。症状としては、安静時振戦、筋硬直、歩行障害等が挙げられます。

現在のところ、MSA は根治する治療法はありません。難病情報センターの Web サイトによれば、日本国内の患者数は 10,528 人(令和 5 年度末医療受給者証保持者数)とされています。

2. 中期経営計画「DTP2027」における本件協業の位置づけについて

ノーベルファーマ株式会社と当社は、2024 年 6 月 18 日付既報のとおり、オーファンドラッグ領域における「パートナー関係構築に向けた協定」を締結しております。

この度の協業は、上記協定に基づく両社間での協業第一号案件であり、また同時に、当社の中期経営計画「DTP2027」の 5 つの柱の 1 つである「新規ビジネスへの参入」におけるオーファンドラッグ参入第一号案件でもあります。

当社は難病に苦しむ患者様のために、本治療薬の一刻も早い発売を目指し、協業パートナーであるノーベルファーマ社とともに開発に尽力して参ります。

3. ノーベルファーマ株式会社について

ノーベルファーマは「必要なのに顧みられない医薬品・医療機器の提供を通して、社会に貢献する」とのミッションを掲げ、2003年に創業しました。

既存の製薬会社に取り上げないアンメットニーズの医薬品の開発を志し、2008年以来、現在までに20を数える新薬・医療機器を開発し、難病・希少疾病を中心に、日本国内のみならず米国、欧州、中国の医療現場にも新たなオプションを提供しています。



以上